

12月定例教育委員会会議録（要点）

日 場	時 所	令和6年12月23日（月）午後2時00分 庁舎第3別館2階 会議室
出席委員		教育長 小澤和樹、委員 山本泰正、委員 長井俊朗 委員 竹田美和、委員 野間真美
会議に出席した 者の職・氏名		副教育長 鳥生敬二、教育政策局長 波頭健 教育大綱推進課長 鳥生幸司、学校教育課長 井上洋 生涯学習課長 畑紀輔、学校給食課長 清水恵蔵 教育大綱推進課長補佐 崎山憲一
傍聴人		なし
議事日程		<ol style="list-style-type: none"> 1 11月教育委員会会議録の承認 2 会議録署名委員の指名 3 教育長報告 4 議題 <ul style="list-style-type: none"> 議案第46号 今治市奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則制定について 議案第47号 今治市青少年センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について 議案第48号 今治市学校給食業務に従事する職員のうち単純な労務に雇用される者の給与、旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部を改正する規程制定について <p style="margin-left: 20px;">午後2時00分、開会を宣す</p>
小澤教育長		日程番号1、11月定例教育委員会の会議録を承認してよいか問う
—各委員—		承認する
小澤教育長		<p>日程番号2、会議録の署名委員に、山本委員、長井委員を指名する。</p> <p>日程番号3、教育長報告を行う</p>

質疑がないか問う

山本委員

学校適正配置ですが、この件については私がここに来た最初のときにこの問題が出てきました。こんなに大事なことを、事務的に処理するのではいけないという判断をして、市長部局に行き、副市長に会わせていただいたところが出発でした。住民にとっては非常に大事で、政治的にも気をつけなければならない事案だと認識しています。そのあともいろいろ注視していますし、市長もおそらく相当神経を使われていると私は認識しております。大事な問題ですので、住民に説明するとしたら、どうするかということを考えてみました。

問題はもう昔から30年も40年も前から始まっており、地方が衰退し、将来、人口減少、少子高齢化が進んでいくこともわかっていて、「田園都市構想」ということが発表されて、その時ある程度自分で勉強したりしました。その後、地方の自治体が減少していく中で、20年前に今治市も合併しました。

そうした中で「society5.0」ということが、この5、6年前から出てきはじめました。この人口減少の中で、どのようにして地域を発展させ維持させていくかということが肝要かと考えます。そういう観点から、この学校の適正配置の問題は、必ず一部住民に反対ないし納得できない人が出てくると思います。そうすると政治的にも大きな問題となると考えます。

しかし、何としてもやり上げなければならない。なぜなら地域を守るために、子どもを守るために、少数ではかなわない問題がこれからの教育のやり方には出てくるからです。表現力あるいは思考力、判断力、それらを培うために、今までの教育に加えて、分析対応する力や評価したりする力を、小、中学校のときから養っていかなければならない。そういう方向は文部省からも出ています。それを実行するためには、一定の規模も必要だし、市の財政面から言っても、スクラップアンドビルドが必要なのだと広い視野からずっと住民に説明して、納得してもらえなくても理解してもらおうように努めなければならないということが、リードする人間のスタンスではないかと思います。私ならこう言おうと思っていますということを披露しておければと思います。

これは本当に簡単な問題ではないので、教育長の下で、本当に地道に計画立てて、教育委員会全員で力を合わせ、進めていただきたいと思います。

野間委員

山本委員がおっしゃった「田園都市構想」と「Society5.0」の関連で、2023年からは、2027年まで「デジタル都市国家構想」に政府として変わっていますよね。それについて、今治市で何か考えていることはありますか。

それと、先ほどの部活動地域移行で「移行」を「展開」に変えるということですが、どのような変化をめざして、「展開」という言葉になったのかを教えてください。そして、元保護者として、練習試合等のときに、先生方が交代で審判などをされて結構大変そうだったのですが、教員の土日勤務ゼロになったら、そういうのはなくなるのか教えてください。

小澤教育長

2023 年デジタル都市国家になったという事を踏まえて、今治市の方ではどういった取り組みがなされているかということですが、いかがでしょうか。

山本委員

教育委員会での回答は難しいのではないのでしょうか。

野間委員

「Society5.0」の次がその計画かなと思っているので合わせて質問しました。

山本委員

市長就任の際に、公約の4本柱の中の2本でDXの推進をベースにしたいとおっしゃられていました。そのための方向として野間委員がおっしゃったことも十分視野に入っていると思います。しかし、Wi-Fiや光回線の設定とかが他の市と比べて進んでいるとは思えません。

野間委員

この前テレビで放映されていまして近見中学校の中学生向けのICT授業のようなことかと思えます。四国で5番目に人口が多い今治市も、すべてに余裕があるわけではない中で、教育は大事だが、教育だけを重視するわけにはいかないもので、Wi-Fi等の情報基盤の整備をどこまでやるかは、予算や、市民の生活の充実とかのバランスを見極める必要もありますよね。

小澤教育長

児童生徒一人一人に1台端末が手に入ったことが1番大きい変革かと思えます。それを学びのためのより良いツールとしていかに活用していくかというときに、プログラミング教育等を紹介させていただきました。今後はさらに生成AIの活用というのが、便利ではあるけどリスクも伴いますので、そういったところにつきましてはアナログとデジタルのハイブリッドな効果的な活用について、研究をしつつ、進めていく必要があると思います。

竹田委員

通学区域調整審議会ですが、現段階で、小中一貫校であるとか統合するとか、具体的な話はされていないですよ。

鳥生教育大綱推進課長

審議会の協議の進捗状況ですが、現在2回の会議をしたところです。その中で小中一貫校の仕組みの紹介や、今の今治市の小中学校の

児童生徒数の現状や今後の見込み、そういったことをまずお知らせしたところです。

12月26日に第3回通学区域調整審議会を開催します。その中では、11月7日～25日にかけて、小中学校の保護者、そして今後小学校に上がってくる子どもたちの保護者、つまり現在、子どもが保育所や幼稚園に行っている方、妊婦の方、さらに教職員にアンケートをとりました、その結果を報告させていただこうと思っています。アンケートの中身は、子どもたちの学びの場としての、1クラス当たりの子どもの数や、1学校当たりの1学年のクラス数について、「どのような環境が望ましいですか」という聞き方をさせてもらっています。また、通学の時間・距離も現状とそれから理想とのギャップを聞いているところです。それを踏まえて、理想的な学校の配置とはどういったことかを、今回、委員の皆様からご意見をいただこうと考えております。

竹田委員

私も保護者としてアンケートを回答しました。アンケート中でも小中一貫校や統合したらといった言葉がいきなり出てくることはなく、1クラスに何人ぐらいがいいと思うか、学校には最低1学年何クラスぐらいあった方がいいと思うか、それはなぜですかとかの問い、あと、先ほど説明があったように通学に何分かけることができるかというような保護者が答えやすく、かつ、気になるところのアンケートだったと思うので、これに関して私は、ちゃんと手順を踏んでいると思っています。これから何回かこの審議会を重ねていく中での話だと思いました。

小澤教育長

アンケート結果の事実について教育委員会側から情報提供させていただき、それに基づいて、委員の方々からご意見をいただくというのが、第3回の会議になります。それを受けまして、次回につなげていきます。

会議の最初に、よりよい教育環境の提供の1つの手段として小中一貫校を説明しましたが、あまり全面に出すぎると視野も選択肢も狭まってくるので、そのような可能性があるといったところで、委員の方々の意見を聞いて進めるようにしています。

山本委員

学校の先生の中には、学校には教育だけでなく他の責任もあるという思いを持っている方もいます。皆さんいろいろ思惑はあるので、教育委員会はきちんと芯を持ってぶれないようにしなければいけないと思います。

小澤教育長

これからは進捗状況に応じて、教育委員会で、方向性を共有した上で、先走って誤解を招かないように、慎重にやっていく必要があるかと思っています。

山本委員 自治体によっては大騒動が起きているところがいくつもあるようです。

小澤教育長 ありがとうございます。
続いて、部活動の地域移行の中で、移行から展開に変わりました。こういった意味合いがあるのかを紹介してもらいます。

鳥生副教育長 部活動の地域移行から地域展開に言葉が変わったとことについて、地域移行という言葉であれば、学校が一切管理せずに地域に移してしまうというような意味合いにとられてしまうので、やはり学校も常に関わっていくということ、地域と学校が力を合わせて展開していきましょうということで、言葉の意味合いから変わったと聞いています。

小澤教育長 土日の教員の働きについてもお願いします。

井上学校教育課長 土日に、どのように地域の力を借りながら、子どもたちのやりたいこと、夢を経験させてあげられるかというようなことに、まず取り組んでいきたいと考えております。

今まではどちらかというと、教員が審判をして引率や采配をしてというような感じの部活動がほとんどで、それが大きな都市では、クラブチームになっていたり、また地域の方が指導し監督してくれたりしている。保護者の皆さんが引率で関わっているというようなイメージだったと思います。

教員も決して関わらないというわけではなく、平日は難しくても、土・日曜日については協力を得ながら、地域、保護者やクラブチーム、今治であれば協会等の力を借りながら、子どもたちのやりたいことを実現させてあげたい。言葉は、移行から展開になりますけども、少しずつどうやって力を借りられるか、地域とともにある学校を作っていくためにも、力添えいただきたいということです。

今入ってきている情報では、国の方針がちょっと先に伸びているというのは聞いていますが、具体的にこうしますっていうのは、この先の話だと思えます。それを踏まえて、また県も方針を出してくれると、その方向と合致させながら、市も取り組んでいきたいと考えております。

野間委員 常に考えていただいていることがよくわかりました。

小澤教育長 令和8年度に教員の指導がゼロになるわけではなく、教員も立場を変えて地域の指導者の1人としての立場としたときに、手当やそういったところが国や県に要求する中で実現していくように、まだまだ整

理されない中で、自治体丸投げでは困りますよということを要望しながら進めていく必要があると思います。

先ほど山本委員がおっしゃった「納得はいかなくても理解してもらおう」という言葉がすごく響きました。満場一致になることはないと思いますが、今治市教育委員会として、ぶれないように信念持って部活動の地域展開や学校の適正配置に子どもたちのために取り組みたいと思います。

長井委員

部活動の地域展開について、今朝の新聞に、国体と高校総体と全中とが一緒に開催できればという記事がありました。やはりお金がもたない。おそらく大きな流れとしてはそうなっていくのだろうと思います。今まで部活動を本当に熱心にやって、それを生きがいにしている教員もいましたし、生徒も部活を一生懸命して学ぶことによって、いろんな楽しみとか学び合う形になっていたのも、変えていくのは非常に難しく、ある意味、意識転換しないといけないところがあると思います。今までやってきた土日もすべてという形では家庭の方が成立しない。やはり教員の応募倍率のさらなる低下につながりかねないので、意識や働き方を変えながらも、教育全体としてのモチベーションを落ちないようにしていくことは非常に難しい作業ですが、やっていかざるをえないと考えます。

それから高校の再編成については、10年ぐらい様々な意見を調整し今の計画になっています。これが本当に正解だったかどうかの答えは出ないですが、全体を見ていきながら、方針を多少軌道修正することも出てくると思います。学校の適正配置は、皆さんおっしゃっているように納得解を見つけなければ仕方ないことなので、慎重にやってくださるとは思いますが、保護者や生徒の声が一番でそこからどう考えていくかだと思います。打ち上げ花火に飛びついていく形にはなりませんので、慎重に考えていきたいと思っています。

一粒萬倍の舞台観劇は、私も大学職員として見に行ったのですが、スポンサーがついて全部無料です。すごい舞台だなと思いました。

野間委員

いろいろ恵まれていることもあるのですね。

鳥生副教育長

一粒萬倍の舞台観劇は、子どもたちは招待いただき無料で観覧することができました。市の方で移動するバスの手配は経費をかけて行いましたが、入場料は無料です。

生徒のお礼の手紙をまとめてくれていました。「本当に感激した、初めてこんなすごいものを見た」と、食を題材にした古事記のテーマにした舞台でしたので、「いただきます」に本当に気持ちを込めて、肉とか魚とか、他の生命を、いただいて我々は生きているのだと、そのことを子どもたちは強く受けとめていた内容でした。

小澤教育長	他に質疑がないか問う
—各委員—	質疑なし
	<議題審議>
小澤教育長	「議案第46号 今治市奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則制定について」説明を求める
鳥生教育大綱推進課長	—「議案第46号 今治市奨学金貸付条例施行規則の一部を改正する規則制定について」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
小澤教育長	承認するか問う
—各委員—	承認する
小澤教育長	「議案第47号 今治市青少年センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について」説明を求める
畑生涯学習課長	—「議案第47号 今治市青少年センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
小澤教育長	承認するか問う
—各委員—	承認する
小澤教育長	「議案第48号 今治市学校給食業務に従事する職員のうち単純な労務に雇用される者の給与、旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部を改正する規程制定について」説明を求める
清水学校給食課長	—「議案第48号 今治市学校給食業務に従事する職員のうち単純な労務に雇用される者の給与、旅費、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部を改正する規程制定について」説明—

小澤教育長	質疑はないか問う
山本委員	給与の改訂は何に基づいて決めているのですか。
清水学校給食課長	人事院勧告に基づくものです。
小澤教育長	他に質疑がないか問う
－各委員－	なし
小澤教育長	承認するか問う
－各委員－	承認する
小澤教育長	その他に意見はないか問う
－各委員－	なし
小澤教育長	午後 2 時45分閉会を宣す